マダニに注意！！

タカサゴキララマダニ

フタトゲチマダニ

（写真提供：兵庫医科大学皮膚科学　夏秋　優　准教授）

ダニ類に咬まれてうつる病気とは

病　　名	日本紅斑熱	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	つつが虫病
病 原 体	日本紅斑熱リケッチア	SFTSウイルス	つつが虫病リケッチア
媒介ダニ	マダニ類	マダニ類	ツツガムシ類*
潜伏期間	2～8日	6～14 日	5～14 日
症　　状	高熱、発疹、刺し口等 重症化し死亡することがある	発熱、消化器症状等 重症化し死亡することがある	高熱、発疹、刺し口等 重症化し死亡することがある ※日本紅斑熱との鑑別が重要
国内発生状　況	主に西日本	近畿・北陸地方以西	全国

＊ツツガムシ類はマダニ類とは別のダニの仲間で、幼虫だけが動物から体液を吸います。

兵庫県内で日本紅斑熱の患者が増加傾向、感染地も拡大傾向

県内では近年、春から秋にかけて、日本紅斑熱の患者発生数が増加傾向で、マダニに咬まれたと推定される感染地も拡大傾向にありますので、野外活動時、ダニに咬まれないための予防対策が必要です。

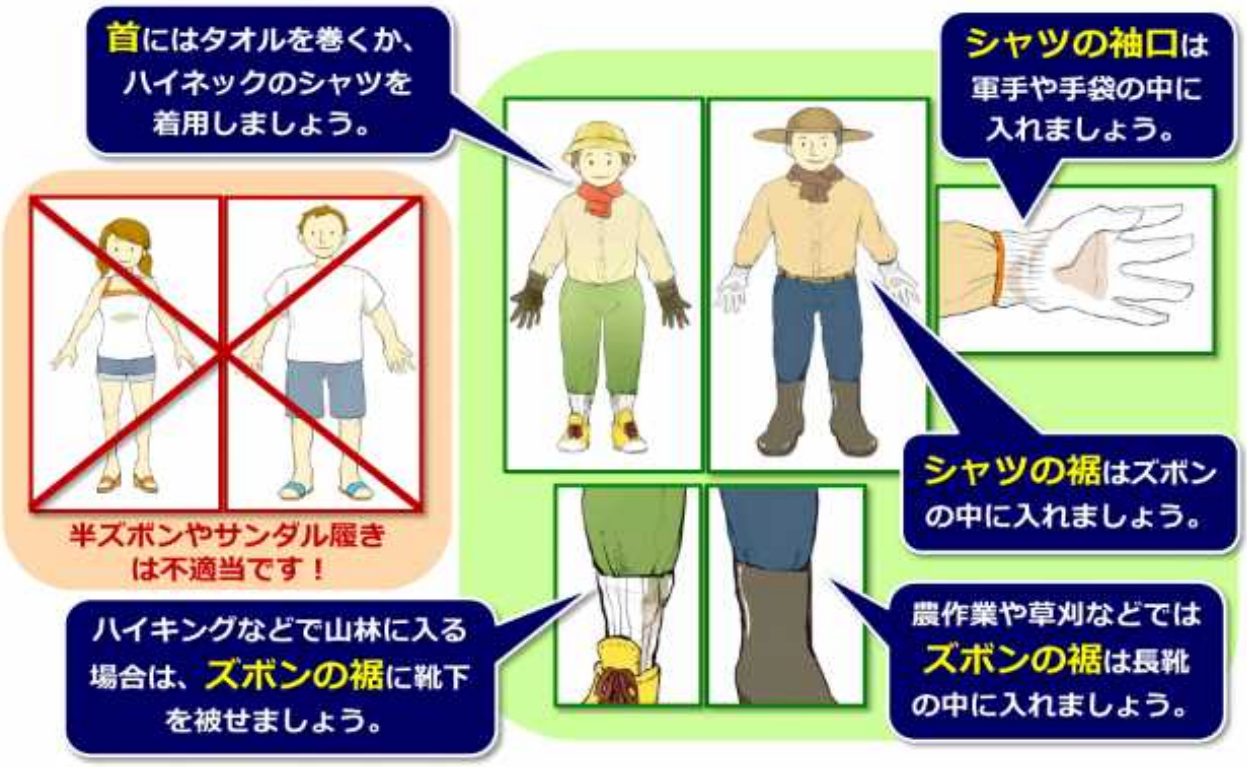
マダニとはどんなダニ？どこにいるの？

・マダニは成虫の体長が3～8mm（幼虫、若虫は1～3mm）の大型のダニです。
・シカやイノシシ、ノウサギ等の野生動物や人の皮膚に咬着して、血を吸います。
・兵庫県ではタカサゴキララマダニ、フタトゲチマダニなど約10種類が生息しています。
・おもに雑木林や草地に生息し、民家の裏山や庭、畑、あぜ道、市街地などにも見られます。
※マダニ類は、食品、衣類や寝具など家庭内に生息するダニとは全く種類が異なります。

両面ご覧ください

マダニから身を守りましょう！

・農作業や山仕事、庭仕事、レジャー等、野外で活動する際は、肌の露出を避けましょう。
・虫除けスプレー（ディート、イカリジンなどの忌避剤）を噴霧しましょう。（特に足元は念入りに！）
・野外活動後は、入浴や着替えをし、皮膚にマダニが咬着していないか、チェックしましょう。



マダニに咬まれたら？

・マダニ類の多くは、長期間（10 日間以上のこともある）皮膚に咬着して吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り、しこりになることがあるので、皮膚科等の医療機関で適切な処置を受けてください。
・マダニに咬まれたら、2～3週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が出た場合は、医療機関で診察を受けてください。その際はマダニに咬まれた、またはその疑いがあることを医師に伝えてください。
（自分でマダニを取り除いた場合は取ったマダニを持参してください。）

【受診時に医師に伝えること】
①野外活動の日付け
②場所
③発症前の行動

【問い合わせ先】
赤穂市保健センター（赤穂すこやかセンター内）
住　　所：赤穂市南野中 321 番地
電話番号：0791-46-8701
FAX 番号：0791-46-8705
メールアドレス：hoken@city.ako.lg.jp

兵庫県西播磨県民局　赤穂健康福祉事務所（赤穂保健所）
住　　所：赤穂市加里屋 98-2
電話番号：0791-43-2321
FAX 番号：0791-43-5386

国立感染症研究所ホームページ、厚生労働省・兵庫県リーフレットより出典

両面ご覧ください